

イノベーション教育のWorkshopにおける笑顔計測つき記録システム

クウジツ株式会社
株式会社シンクフェーズ
東京大学大学院情報学環 兼
ソニーコンピュータサイエンス研究所 暦本純一

末吉、宮島、岩波
辻田眸

背景

- 東京大学 i.schoolのイノベーション教育の中で稼働を始めたWorkshop中の笑顔計測つき記録システムについて紹介をします。これは、東京大学 i.schoolにおける表情と知的創発プロセスに関する相関研究と、東大情報学環 暦本研究室/ソニーコンピュータサイエンス研究所による「ハピネスカウンター」との共同研究になっています。
- Workshopによるイノベーション教育は、例えば1週間で何週間か継続して行われることが多いですが、これまで、毎回のWorkshopの議論の行われるテーブル全体の様子を記録するのは従来の機器では困難でした。
- 今回、東京大学 i.school と共同で、議論の過程を俯瞰して振り返ることができる、カメラシステム、笑顔の解析システム、俯瞰して振り返るViewerシステムを開発し、実際のi.schoolでのWorkshopで運用を開始しました。
(解析結果および知的創発プロセスに関する内容は、i.school 堀井先生および皆様の発表となっており、ここでは、それを実現するための仕組みを説明する関連ポスターとなります)

構造的枠組み

- ウィリアム・ジェイムズの言説で、『人は幸福であるが故に笑うのではなく、笑うが故に幸福である』という考えを受けて作られた、東京大学大学院情報学環 暦本研究室およびソニーコンピュータサイエンス研究所での「ハピネスカウンター」と呼ばれるシステムが基になっており、それを応用してWorkshop向けに開発されました。イノベーションの起こるその前後の映像をリアルタイムに捉えることにより、教育の現場に貢献できると考えております。

ハピネスカウンター参考URL:

<http://lab.rekimoto.org/projects/happinesscounter/>
<http://www.g-mark.org/award/describe/39082>

実施・分析概要

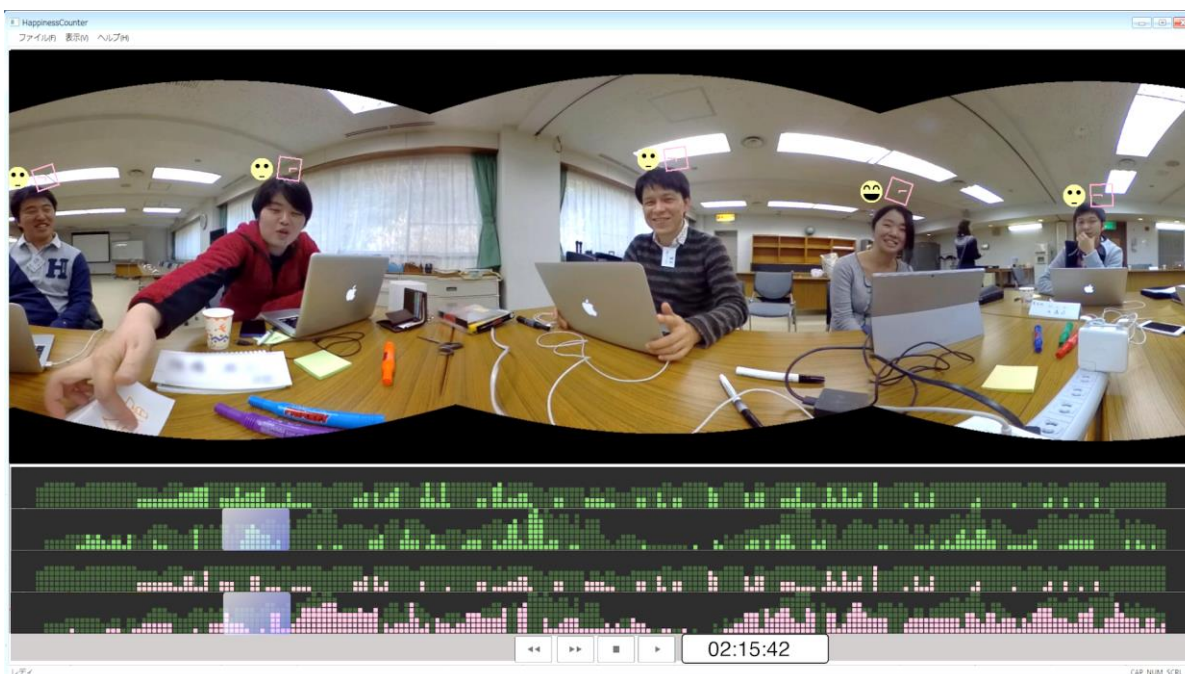
- Workshopのテーブルに座った各参加者の笑顔度や、机に向かって作業の集中度を、撮影された全周映像を解析をすることによって、Workshop全体の俯瞰、振り返りを行います。統計情報がグラフで表示をされ、特徴的な場面にシークすることが出来て、ある瞬間のWorkshopのテーブル全体の様子、参加者の表情を見返すことができます。

考察

- Workshopでの使用例がまだ少ない為、十分な考察が難しいがWorkshop全体を俯瞰できる手段が実現できたのは意味があるものと思います。

今後への課題

- 今後、東京大学 i.schoolにおいてWorkshopにおける使用を継続し、使い勝手や性能に改善を加えて、解析される統計情報をよりよくすることにより、イノベーション教育に貢献できるよう、さらに進化させていく予定です。



Viewerの表示画面



360度カメラシステム